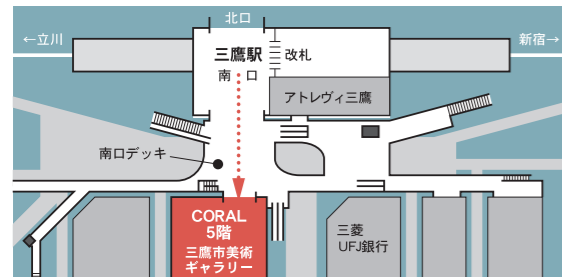


三鷹会場

太宰治展示室
三鷹の此の小さい家



会期:令和4年3月8日(火)~7月24日(日)
会場:企画展示室
住所:三鷹市下連雀3-35-1 CORAL 5階
三鷹市美術ギャラリー



TEL:0422-79-0033

開館時間:午前10時から午後6時まで

観覧無料

休館日:3月14、22、23、28日 4月4、11~14、18、25日

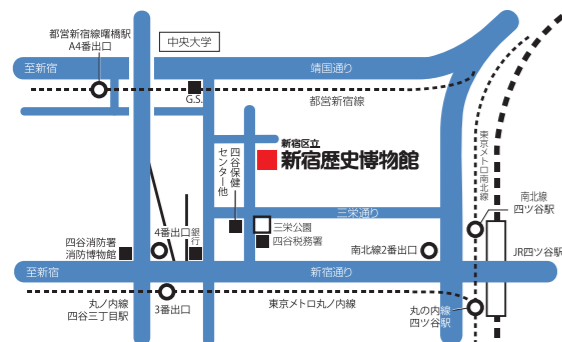
5月2、9、16、23、25~31日 6月1~3、6、13、20、27日

7月4、11~15、19日

監修:宮坂覺(国際芥川龍之介学会ISAS元会長・フェリス女学院大学名誉教授)

新宿会場

新宿区立
新宿歴史博物館
Shinjuku Historical Museum



会期:令和4年3月1日(火)~7月24日(日)
会場:1階れきはくギャラリー・常設展示室

住所:新宿区四谷三栄町12-16

TEL:03-3359-2131

開館時間:午前9時半から午後5時半まで(入館は午後5時まで)

常設展観覧料(一般300円、小・中学生100円)

休館日:第2・第4月曜(月曜日が休日の場合は開館し、その翌平日休館)



田端会場

田端文士村記念館
TABATA Memorial Museum of Writers and Artists



■JR山手線・京浜東北線田端駅北口より徒歩2分



会期:令和4年3月1日(火)~7月24日(日)

会場:常設展示スペース

住所:北区田端6-1-2

TEL:03-5685-5171

開館時間:午前10時から午後5時まで(入館は午後4時半まで)

観覧無料

休館日:月曜(祝日の時は火・水曜)、祝日の翌日(土・日の時は翌火曜)、5月9~20日



協働企画展示 三鷹 × 新宿 × 田端



提供:弘前市立郷土文学館

提供:藤沢市文書館

2022 3/1 TUE ▶ 7/24 SUN
三鷹会場は3/8 TUE

芥川龍之介(1892-1927)が数多くの代表作を執筆した田端。芥川に焦がれながらその生涯を小説に捧げた太宰治(1909-1948)の創作の地、三鷹。また、両作家の早熟な学生時代に拠点となった、新宿。2022年、芥川の生誕130年を機に、芥川と太宰のゆかりの地にある文化施設が手を携え、協働企画展示を開催します。

さらに、芥川の生誕日(3月1日)から命日の「河童忌」(7月24日)の間に、太宰の「桜桃忌」(6月19日)があるこの期間中、☆河童忌・桜桃忌スタンプラリー★を実施します。

【太宰治と新宿・三鷹】

芥川に思慕し、作家志望だった太宰。芥川の死に衝撃を受けたのは18歳、官立弘前高等学校に通う学生でした。東京帝国大学進学を機に上京し、「常盤館」(現高田馬場1丁目)に下宿しますが、非合法活動のアジトとなり、居を転々としながら不安定な学生生活を送ります。

結婚して三鷹(現下連雀2丁目)に家を借りてからは一度も転居することなく、家族との生活によって精神的安定を得、作風にも明るさを取り戻しました。晩年作ばかりが注目される太宰ですが、創作が阻まれる戦中にこそ手を緩めず作品を書き連ねたことは、文学界における大きな功績と言えます。戦後は朝日新聞で連載を確約されるまでの流行作家となりますが、玉川上水に入水し絶命。時代の寵児が告げた突然の別れは、芥川と同様に衝撃的な最期となりました。享年38歳。



【芥川龍之介と新宿・田端】

芥川は第一高等学校入学後の18歳から東京帝国大学二年に進級する22歳まで、実父新原敏三が営む牧場(現新宿2丁目)脇にあった実父の持家で過ごしました。この間、文壇デビューの契機となる「新思潮」を同志たちと創刊し研鑽を積みました。新宿は、芥川が文学修業に励んだ地と言えます。

新宿の次に移り住んだのは、田端(現田端1丁目)です。ここから夏目漱石宅(現新宿区立漱石山房記念館)の木曜会に通い、漱石に激賞を受け24歳で彗星のごとく文壇デビューしました。そして、流行作家となり、今日我々が親しんでいる数多くの作品を残し、足早に大正という時代を駆け抜けました。昭和に改元された7ヶ月後、芥川は、田端の自宅で「ぼんやりした不安」という言葉を残して自ら命を絶ち、社会に強烈な衝撃を与えました。享年35歳。



展示資料紹介

DAZAI



(公財)三鷹市スポーツと文化財団蔵

太宰治が愛用した電気スタンド

太宰が弘前高等学校在学中に下宿先で使用していたもの。入学から僅かひと月後に芥川が自殺し衝撃を受けた。本棚には芥川の諸作品が並んでいたという。



(公財)三鷹市スポーツと文化財団蔵

「新潮」昭和23年3月号、5～7月号

太宰が作中に「芥川の苦悩」と記し、志賀直哉と相克した最晩年作「如是我聞」。当初は1年の連載予定だったという。

AKUTAGAWA



田端文士村記念館蔵

芥川龍之介・菊池寛合作色紙(河童図:芥川龍之介)

芥川が河童の図と「禿の頭」、菊池が「日本古来の藝術文化」と揮毫した合作色紙。河童図は芥川が死の直前に描いた絵に酷似しているため、晩年の作だと推察される。



田端文士村記念館蔵

芥川龍之介「孤独地獄」原稿

第四次「新思潮」掲載2作目の小説。「孤独地獄」とは仏教用語で、現世の何処でも忽然と表れる地獄のこと。

☆河童忌・桜桃忌スタンプラリー☆

ご参加
無料!

期 間：3月1日～7月24日 ※太宰治展示室は3月8日より
景 品：各館でスタンプを押した方に記念品(各施設でデザインが異なります)を、さらに、全3館のスタンプを集めた方には特別な菓^{しおり}をプレゼント!

※スタンプラリーの台紙は各館受付にて無料配布いたします。菓は各種先着1000名。

